

クラス番号	327	担当教員名	両角達平
		他専修学生受入上限人数	2名
テーマ	若者の生活世界の構想		

ゼミナール概要

ゼミ紹介動画



活世界を達によっ
らには資
間が少な
向くよう
下がり、消

18世紀のヨーロッパのカフェやパブは、異なる階層の人々が議論して生
構成する「公共圏(けん)」となっていました。しかしその後、科学技術の発
て社会が合理化したことや、テレビなどのマスメディアが登場したこと、さ
本主義の高度化により、生活世界が変容していきました。公共性を持った空
くなり、人々の関心は自分の身の回りの人間関係や感情などの私的な領域に
になっていきました。その結果、若い世代もふくめ、人々の社会への関心は
費的な行動が盛んになり、人と人とのつながりが希薄化しました。遊びや余暇が無駄なものとされ、教育も成
長や効率を目指すものとなっていきました。これらがシステムの生活世界の「植民地化」の結果、起きたこと
です。

このような趨勢(すうせい) は後期近代に突入した日本でも例外ではありませんでした。システムの植民地
化によって、若者の生活や居場所、生き方にはどのような影響が出たでしょうか。若者のどんな生活世界が奪
われてしまったでしょうか。若者はどのように生き、世界と向き合っていけばよいのでしょうか。

このゼミでは以上の問題意識に基づいて「若者の生活世界の構想」を主要テーマにし、プロジェクトを実施
します。テーマは「若者の生活世界の構想」です。さて、みなさんはどんな若者の生活世界をつくっていきま
すか？

3 年時

前期ではゼミ生同士でそれぞれの関心とゼミテーマに基づいてプロジェクト案を出し合って、グループをつ
くり、計画を立てて実行します。ゼミの時間は、進捗を共有する時間とします。後期からは卒論で書きたい・
表現したいことも同時に準備していきます。

4 年時

自らの興味・関心・問題意識に沿って、問いを立て、深め、自分なりの答えを出すことを目的に卒業論文を
執筆します。卒業論文は、アカデミックな作法を守りながら論理的に表現できることを目標にします。

その他

- ・本ゼミでは、オンラインのプラットフォームで **Discord** を使用します。
- ・両角ゼミの運営は、**民主主義・自治**を大事にします。ゼミ長を中心にゼミの運営もできるだけ学生が運営
し教員が補助する形をとります。(このシラバスにもゼミ長の意見が反映されています。)

担当教員からのメッセージ

大学生の時に、「社会との距離が遠い」ことに疑問をもち、ユースワークの活動のヒントを探りにスウェー
デンを訪ねたことが運の尽きでした。それから私の若者の「生活世界」をめぐる旅は始まりました。あると
きはスウェーデンのユースセンターの現場、あるとき はドイツの若者政策の国際 **NGO** で働き、ヨーロッパ
の若者の生活世界を、いち若者として過ごし、研究と発信をしてきました。若者をはじめとするあらゆる人が
参画する社会が 拓けていくにはどうしたらいいかをいつも考えています。そんな問いが少しでもあり、他者
とのフラットな関係のなかで自分の「やりたいこと」「やるべしこと」を探し、実現するそんなゼミにしてい
きましょう。(プロジェクトと卒論をやり、ゼミ合宿や企画も色々ある忙しいながらも中身の濃いゼミです。)

エントリーシートには、①ゼミ選択の理由、②ゼミテーマにあったプロジェクト案(アイディアで構いません)
③自身の強みを踏まえてゼミでどんな役割を果たしたいか、を記入して提出してください。